

シンポジウム

地域に即した 地震災害軽減を 目指して

—能登半島地震に学ぶ—

日時

令和7(2025)年**2月28日(金)**
14:00～17:30

会場

弘前大学文京町地区キャンパス 教育学部大教室(1階)

対象



青森県民
青森県内の自治体職員(消防隊員を含む)
弘前大学学生

第1部 基調講演

青森県の地盤と地震動 —地震災害軽減のための基礎資料—
片岡 俊一 教授(地域共創科学研究科長)

第2部 令和6年能登半島地震に学ぶ

- 趣旨説明
- 概要を学ぶ
- 知見を青森県に活かす—パネルディスカッション—

主催：弘前大学大学院地域共創科学研究科／弘前大学大学院理工学研究科

後援：東奥日報／陸奥新報／青森県／弘前市／弘前地区消防事務組合／NHK青森放送局

地域に即した地震災害軽減を目指して

—能登半島地震に学ぶ—

内 容

	開会	総合司会：小岩 直人 教授（地域共創科学研究科副研究科長）
14:00～15:00	第1部 基調講演 青森県の地盤と地震動—地震災害軽減のための基礎資料— 片岡 俊一 教授（地域共創科学研究科長）	
15:15～	第2部 令和6年能登半島地震に学ぶ	
15:15～15:20	趣旨説明	片岡 俊一 教授（地域共創科学研究科長）
15:20～16:40	概要を学ぶ（以下、題目は仮題）（一人20分） <input type="checkbox"/> 能登地域 岸岡 智也 助教（農学生命科学部） <input type="checkbox"/> 地震 前田 拓人 教授（理工学研究科、地震火山観測所長） <input type="checkbox"/> 構造物等の被害 上原子晶久 准教授（地域共創科学研究科） <input type="checkbox"/> 医療援助体制 伊藤 勝博 教授（被ばく医療連携推進機構 災害・被ばく医療教育センター）	
16:40～17:25	知見を青森県に活かす—パネルディスカッション— モデレーター：片岡 俊一 教授（地域共創科学研究科長） パネリスト：上記講演者	
17:25～17:30	閉会挨拶	橋本 恭男（弘前大学理事・副学長）

基調講演は片岡教授の最終講義を兼ねています。

また、18時から大学会館2階スクラムにて片岡教授の退職祝賀会を催します。お時間がある方はご参加ください。

能登半島地震 特別研究プロジェクト

地域共創科学研究科では、能登半島地震に関する多面的な研究を助成するために、特別研究プロジェクトを立ち上げました。その成果をポスターとして報告します。

 能登半島の災害を人びとはどう捉えているか

平井 太郎 教授（地域共創科学研究科）

 令和6年能登半島地震による石川県内灘町における液状化の被害に関する研究

小岩 直人 教授（地域共創科学研究科）

 令和6年能登半島地震に伴う現世と古津波堆積物の比較研究

梅田 浩司 教授（地域共創科学研究科）

 人工衛星データを用いた令和6年能登半島地震に伴う地盤変状の把握と土地利用への影響評価

道家 涼介 准教授（地域共創科学研究科）

 能登半島地震における生活ごみ・し尿処理施設の被災状況に関する情報収集事業

泉谷 眞実 教授（地域共創科学研究科）

 能登半島地震被災酒造企業における共同醸造の現状と課題に関する研究

石塚 哉史 教授（地域共創科学研究科）